

厚生科学研究費補助金

感覚器障害研究事業

聴覚障害者の社会参加促進に向けた「自己発声音」の評価と
対応策の確立に関する研究

平成12年度 総括研究報告書

主任研究者 佐藤 徳太郎

平成13（2001）年3月

研究報告書目次

目 次

I. 総括研究報告

聴覚障害者の社会参加促進に向けた「自己発生音」の評価と対応策の確立に関する研究

----- 1

佐藤徳太郎

(資料) 「音に対するアンケート」のアンケート調査用紙

厚生科学研究費補助金（感覚器障害研究事業）
（総括）研究報告書

聴覚障害者の社会参加促進に向けた「自己発生音」の評価と対応策の確立に関する研究

主任研究者 佐藤徳太郎 国立身体障害者リハビリテーションセンター
更生訓練所長

研究要旨

本研究は、聴覚障害者が日常活動動作に伴って発生する「自己発生音」の測定を社会適応訓練に取り入れ、音環境における「自己発生音」の適正化とコミュニケーションの向上を図り、聴覚障害者の社会参加を促進させることを目的として、「自己発生音」測定項目を決定するとともに、極めて安定した測定条件を設定した。聴覚障害者における「自己発生音」の実態調査では、「机をたたいて人を呼ぶ」、「椅子をずらす」、「戸の開閉」の3項目において特に高い音圧が観測された。さらに、単語了解度試験や音環境評価手法の検討など、生活環境における「自己発生音」の許容範囲の評価に対する基礎的検討を行った。

A. 研究目的

高齢社会の到来とともに聴覚障害者は増加している。我々の調査では、聴覚障害者の就職率は26.7%と低く、転職頻度は1人平均0.4回と多、聴覚障害者就労の促進に向けた社会適応性の向上は重要である。本研究は、聴覚障害者が日常活動動作に伴って発生する「自己発生音」の測定法を確立して、それを社会適応訓練に取り入れ、音環境における「自己発生音」の適正と、コミュニケーションの向上を図り、聴覚障害者の社会参加を促進させようとするものである。さらに、聴覚障害者自身の音声の音圧レベルや音質の適正化訓練法を確立し、聴覚障害者の社会参加を促進させるとともに、聴覚障害者が日常生活において感じている「自己発生音」に対する不安を軽減し、聴覚障害者のQOLを高めることを目的とする。

B. 研究方法

聴覚障害者が環境騒音の発生を危惧している日常活動動作と聴覚障害者の訓練を担当する健聴者が特に騒音の原因となると考えている活動動作とをアンケート調査し、測定する活動動作を抽出した。アンケート対象者は372名であった。者の訓練を担当する健聴者が特に騒音

当センター障害者モデルハウス内に測定空間を設定し、測定空間における音の反響などの音響学的分析結果を基に複数の騒音計設置場所を決定した。各活動動作についてそれぞれを5試行し、その中央値を各動作において発生する各被験者の音圧レベルとした。聴覚障害者における「自己発生音」の実態調査対象者は40名であった。各生活環境における「自己発生音」の許容範囲の評価の基礎実験として、高齢者と若年者に単語了解度試験を行うと共に、音声伝達に及ぼす残響、音の高低、音量感などの影響を調べた。難聴者の音に対するラウドネス感覚の検討においては、健聴者と難聴者各々10にシンバル、太鼓、ホイッスルを鳴らさせ、3試行のピーク値を騒音計で測定し、その平均を計算した。

（倫理面への配慮）

被験者に研究について十分に説明したうえで、研究への参加の了承を得て行い、特に事故等の問題はなかった。

C. 研究結果

1. 生活騒音測定場面の決定は佐藤徳太郎、田内 光および佐藤 洋が担当した。聴覚障害者が環境騒音の発生を危惧している日常活動動作と聴覚障害上がる」の5項目についての平均は、

の原因となると考えている活動動作等についてアンケート調査した。聴覚障害者の約1/3が日常音に注意しながら生活しているとの結果がえられた。全体で、大きい音と知っている音として、「バイクのエンジン音」、「掃除機を使用している音」、「車、バイクのクラクション音」、「子供の泣き声」、「机をたたいて人を呼ぶ時の音」などを半数以上が挙げていた。不安に感じる音では、「車、バイクのクラクション音」、「子供の泣き声」、「自分の会話時の声」、「犬や猫の声」、「人を呼ぶ時の声」などを4割以上が挙げていた。どの位の大きさを知りたいとしてあげられたものには、「テレビの音」、「人を呼ぶ時の声」、「お湯の沸騰音」、「自分の会話時の声」、「車のエンジン音」、「補聴器のハウリング音」などであった。また、更生訓練所入所者においては、「机をたたいて人を呼ぶ時の音」、「廊下を走る音」が、難聴外来受診者では、「階段を駆け上がる音」、「椅子をずらす音」、「廊下を走る音」等が高率に挙げられていた。これらの結果をもとに、生活騒音測定場面として「机をたたいて人を呼ぶ」、「椅子をずらす」、「戸の開閉」、「廊下を走る」、「階段を駆け上がる」の5項目を抽出した。この結果の一部は、国立身体障害者リハビリテーションセンター業績発表会において報告した。

2. 「自己発生音」測定法の確立は、中島八十一と佐藤洋が担当した。測定空間を当センター障害者モデルハウス内に設定することとし、測定空間における音の反響などの音響学的分析を行い、複数の騒音計設置場所を決定した。各活動動作についてそれぞれを5試行し、その中央値を各動作において発生する各被験者の音圧レベルとした。被験者40名について測定時の暗騒音の平均と標準偏差はそれぞれ40.0dBと1.9dBであり、極めて安定した測定環境であった。

3. 聴覚障害者における「自己発生音」の実態調査は佐藤徳太郎、田内光及び佐藤洋が担当した。アンケート調査によって抽出された上記の活動動作5項目について、設定された測定空間で、一定の記録・分析法によって聴覚障害者における「自己発生音」の実態調査を行った。被験者40名の実態調査結果では、「机をたたいて人を呼ぶ」、「椅子をずらす」、「戸の開閉」、「廊下を走る」、「階段を駆け音」、「廊下を走る音」が、難聴外来

それぞれ71.5、69.8、66.3、58.7、59.1dBであった。その最大値は、それぞれの項目で89、81、91、70.5、74dBであった。70dB以上を記録した者は、「机をたたいて人を呼ぶ」、「椅子をずらす」、「戸の開閉」の3項目において約半数であった。

4. 生活環境における「自己発生音」の許容範囲の評価：単語理解度試験による若年者、高齢者の聴覚特性について、20歳代の若年者、60歳代以降の高齢者の音声コミュニケーションに際し、調査単語の親密度を統制する必要性を指摘した。騒音や反射音がどの程度阻害するのかを把握するとともに、「聞き取りやすさ」の評価法をおこない、音空間の受聴点、スピーチソース、拡声条件などが影響するとの結果が得られた。音環境評価手法の検討は、佐藤洋が担当し、日本建築学会大会、日本音響学会、The Seventh Western Pacific Regional Acoustics および Proc. of Acoustical Society of America Meeting においてその結果を発表した。

5. 「自己発生音」の音圧連続モニターシステムの開発：「自己発生音」の音圧連続モニターシステムの開発に関して、モニター作製に当たっての問題点の検討を開始した（中島）。

6. 難聴者の音に対するラウドネス感覚の検討：シンバル、太鼓、ホイッスルなどの楽器を鳴らさせることによる難聴者の音に対するラウドネス感覚の検討を行い、健聴者より難聴者のほうが小さく鳴らす傾向が見られた（田内）。

D. 考察

アンケート結果では、全体では、大きい音と知っている音として、「バイクのエンジン音」、「掃除機を使用している音」、「車、バイクのクラクション音」、「子供の泣き声」、「机をたたいて人を呼ぶ時の音」などを半数以上が挙げていた。不安に感じる音としては、「車、バイクのクラクション音」、「子供の泣き声」、「自分の会話時の声」、「犬や猫の声」、「人を呼ぶ時の声」など、どの位の大きさを知りたいとしてあげられたものには、「テレビの音」、「人を呼ぶ時の声」、「お湯の沸騰音」、「自分の会話時の声」、「車のエンジン音」、「補聴器のハウリング音」などであった。一方、更生訓練所入所者においては、「机をたたいて人を呼ぶ時の音」、「机をたたいて人を呼ぶ」、「椅子を

受診者では、「階段を駆け上がる音」、「椅子をずらす音」、「廊下を走る音」等が高率に挙げられており、調査対象によって傾向が異なっていた。これらの結果をもとに、生活騒音測定場面として「机をたたいて人を呼ぶ」、「椅子をずらす」、「廊下を走る」、「階段を駆け上がる」の4項目を抽出し、生活指導員の推薦する「戸の開閉」を加えて、計5項目を「自己発生音」測定場面とした。

当センター障害者モデルハウス内に測定空間を設定し、測定空間における音の反響などの音響学的分析結果を基に複数の騒音計設置場所を決定した。各活動動作についてそれぞれを5試行し、その中央値を各動作において発生する各被験者の音圧レベルとした。この測定系において、測定時の暗騒音の平均と標準偏差はそれぞれ40.0dBと1.9dBであり、極めて安定した測定条件を設定できたと考えられる。

聴覚障害者における「自己発生音」の実態調査対象者は40名であり、さらに対象者を増やす必要があるが、「机をたたいて人を呼ぶ」、「椅子をずらす」、「戸の開閉」、「廊下を走る」、「階段を駆け上がる」の5項目についての音圧の平均は、それぞれ71.5、69.8、66.3、58.7、59.1dBであった。また、70dB以上を記録した者は、「机をたたいて人を呼ぶ」、「椅子をずらす」、「戸の開閉」の3項目において約半数であった。このことより、「机をたたいて人を呼ぶ」、「椅子をずらす」、「戸の開閉」等の動作について生活指導を要する聴覚障害者が少なくないことが示された。上記の測定手技及び単語了解度試験や音環境評価手法の検討などの手技は、口話を行っている聴覚障害者が音環境に応じて発声音圧レベルを視覚的に適正化する方法の確立に有効であると考えられる。

また、ラウドネス感覚の検討において健聴者より難聴者の方が小さく鳴らす傾向が見られた。聴覚障害者の約1/3が日常音に注意しながら生活しているとのアンケート調査の結果も考慮すると、その原因としては、「自己発生音」に対する不安傾向により、少し小さめの音でたたかためかと推定される。

E. 結論

本研究における「自己発生音」測定場面として、アンケート調査により induced hyperkalemia successfully

ずらす」、「戸の開閉」、「廊下を走る」、「階段を駆け上がる」の5項目を抽出した。暗騒音の平均が40.0dB - 1.9dBと、極めて安定した測定環境を設定し、5項目についての平均は、それぞれ71.5、69.8、66.3、58.7、59.1dBであり、「机をたたいて人を呼ぶ」、「椅子をずらす」、「戸の開閉」の3項目において特に高い音圧が観測された。単語了解度試験や音環境評価手法の検討など、生活環境における「自己発生音」の許容範囲の評価に対する基礎的検討も行った。

これらの研究結果は、当初の計画通りに進められ、次年度以降の研究の基盤となるとともに、音環境における「自己発生音」の適正化と、コミュニケーションの向上による聴覚障害者の社会参加を促進させることに貢献しうるものと考えられる。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1. 論文発表

・後藤葉子、佐藤徳太郎、他：在宅肺気腫患者のADL障害を詳細に捉えるための新しい在宅ADL評価表の開発。総合リハビリテーション、28巻 863-868、2000

・後藤葉子、佐藤徳太郎、他：重症肺気腫患者における精神心理状態（不安）、ADLおよびQOL-運動機能の影響を含めた検討から。日本呼吸管理学会誌、9、432-437、2000

・高木道人、佐藤徳太郎：疼痛に対する各種治療。整形外科、51、960-964、2000

・佐藤徳太郎：求職障害者数の増加。総合リハビリテーション、28、315、2000

・森本行雄、佐藤徳太郎、他：聴覚障害者の「自己発生音」に対する意識調査。国立身体障害者リハビリテーションセンター業績発表会資料、17、28、2000

・Koichi Chida, Tokutaro Sato et al: Relationship between the pixel value in digital subtraction angiography and iodine concentration: Study in high iodine concentration with original phantom. Tohoku J. Exp. Med. 190、169-176、2000

・Kazunori Yoshida, Tokutaro Sato et al: A case of lobenzarit disodium-試験による音声伝達性能評価 □ 残響

treated with fludrocortisone acetate.
Clin Exp Nephrol (in press)

・Masao Kohzuki, Tokutaro Sato, et al: Rehabilitation for patients with hepatopulmonary syndrome: A case of hepatopulmonary syndrome with disuse atrophy and common peroneal nerve palsy treated by living-related orthotopic liver transplantation. Arch. Phys.Med. Rehabil. (in press)

・Naomi Kuge, Tokutaro Sato, et al: Determination of urinary hydroperoxide excretion. Free Rad. Res.(in press)

・田内 光 「幼小児難聴と福祉の支援」、JHONS、東京医学社、Vol.1 6、P244-248、2000

・田内 光 「聴覚障害」、最新版障害者のスポーツ指導の手引き、日本障害者スポーツ協会、P54-61、2000、

・田内 光 「7.補聴器 2.検査とフィッティング」、CLIENT21 6.聴覚、中山書店、P500-507、2000

・Nakajima Y, Imamura N: Probability and interstimulus interval effects on the N140 and the P300 components of somatosensory ERPs. Intern. J. Neuroscience 104,75-91, 2000

・Nakajima Y, Imamura N: Relationships between intensity effects on the cognitive N140 and P300 components of somatosensory ERPs. Clin. Neurophysiology 111,1711-1718, 2000

・古谷泉、森浩一、平田直樹、中島八十一：多チャンネル赤外分光法による側頭部聴覚反応の測定 THERAPEUTIC RESEARCH 21：45-47,2000

・森浩一、古谷泉、平田直樹、中島八十一：多チャンネル赤外分光法による聴覚言語刺激に対する脳反応 THERAPEUTIC RESEARCH,21：59-62, 2000.

・古谷泉、森浩一、平田直樹、中島八十一：近赤外分光法による聴覚野の誘発反応の測定 日本音響学会聴覚研究会資料、11：1-6, 2000

・中島八十一：感覚生理学、神経内科学。岩崎テル子、中田眞由美、澤俊二編。生存と自己表現のための知覚。協同医書出版社、東京 31-50、2000

・佐藤逸人、佐藤 洋、吉野 博、長友宗重：親密度を統制した単語了解度き取りにくさの関係」、日本建築学会

・騒音及び加齢による聴力損失の影響 □、日本建築学会東北支部研究報告会、pp.209-212、2000

・佐藤 洋、吉野 博、長友宗重、佐藤逸人：若年者と高齢者の単語了解度の比較—親密度を統制した単語リストを用いた音声伝達性能評価に関する研究 その2—、日本建築学会大会学術講演梗概集、pp.21-24、2000

・佐藤逸人、佐藤 洋、吉野 博、長友宗重：無意味三連音節明瞭度と単語了解度の比較—親密度を統制した単語リストを用いた音声伝達性能評価に関する研究 その3—、日本建築学会大会学術講演梗概集 pp.33-34、2000

・佐藤逸人、佐藤 洋、他：若年者と高齢者の単語了解度の差について、日本音響学会講演論文集、pp.281-282、2000

・Hiroshi Sato, Hiroshi Yoshino, Hayato Sato, Yoiti Suzuki, Shigeki Amano, Kimihisa Kondo: Effects of word familiarity on word intelligibility for listeners with presbycusis in noise and reverberation, Proc. of Acoustical Society of America Meeting, 5aAA10, 2000

・神田 淳、佐藤 洋、吉野 博：文化ホールにおける音声伝送品質の評価に関する研究—室内音響及び電気音響設備の特性—、日本建築学会東北支部研究報告会、pp.213-216、2000

・小林好人、森本政之、佐藤 洋：親密度を統制した単語の了解度と聴き取りにくさの関係、日本建築学会近畿支部研究報告集、pp.25-28、2000

・森本政之、小林好人、佐藤 洋：「親密度を統制した単語の了解度と聴き取りにくさの関係—親密度を統制した単語リストを用いた音声伝達性能評価に関する研究 その2— 日本建築学会大会学術講演梗概集 pp.25-28、2000

・佐藤 洋、他：実音場における話声の「聴き取りやすさ」に影響を及ぼす因子の検討、日本音響学会講演論文集、pp.735-736、2000

・Hiroshi Sato, Yoiti Suzuki, Hiroshi Yoshino, : RELATIONSHIP BETWEEN PSYCHOLOGICAL AND PHYSICAL EVALUATION OF SPEECH TRANSMISSION QUALITY IN AUDITORIUM, The Seventh Western Pacific Regional Acoustics Conference, pp.851-854,2000

・小林好人、森本政之、佐藤 洋、「親密度を統制した単語の了解度と聴き取りにくさの関係」、日本建築学会

近畿支部・環境工学部会,第2回近畿
環境工学シンポジウム予稿集、pp.13-
18,2000

・Masayuki Morimoto, Masaaki
Kobayashi, Hiroshi Sato, Relation
between intelligibility and listening
difficulty using word lists based on
word familiarity, Proc. of Acoustical
Society of America Meeting, 5aAA9,
2000

2. 学会発表

・佐藤逸人、佐藤 洋、他：若年と高
齢者の単語親密度の差について。日本
音響学会講演論文集、p 281-28
2、2000

・Hiroshi Sato, Yoit Suzuki, Hiroshi
Yoshino : Relation between psycho-
logical and physical evaluation of
speech transmission quality in
auditorium. The Seventh Western
Pacific Regional Acoustics
Conference, October, 2000.

Kobayashi, Hiroshi Sato, Relation
between intelligibility and listening
difficulty using word lists based on
word familiarity, Proc. of Acoustical
Society of America Meeting,
December,2000.

・佐藤徳太郎、会田孝行、他：聴覚障
害者の「自己発生音」に対する意識調
査。第17回国立身体障害者リハビリ
テーションセンター業績発表会、20
00年12月

・佐藤徳太郎：「自己発生音」に関す
る調査結果報告。「自己発生音」研究
成果発表会、2001年3月

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

音に対するアンケート

家の中や外など身近な生活のさまざまな場面で「音」が生じています。どこにでも生じている「音」ですが、時には他の人に不快感を与えたり、気がつかないうちに周囲に迷惑をかけてしまったりすることがあります。また、日頃から注意している事と思いますが、どの程度の大きさの「音」なのかを判断しにくいために、不安に感じていることもあると思います。

そこで、音の大きさをどのように認識しているか、皆さんがどのような場面での「音」に不安を感じているのか、さらにどのような場面での「音」の大きさの程度を知りたいと思っているのか、「音」に対してどのように思っているのか教えてください。

アンケートの結果をふまえて、今後、聴覚障害者が社会生活を送る上で、役立つ訓練内容を検討するための材料とさせていただきます。お手数ですが、次のページから質問にお答えください。ご協力よろしくお願ひします。

国立身体障害者リハビリテーションセンター
更生訓練所長 佐藤 徳太郎

《連絡先》 国立身体障害者リハビリテーションセンター
更生訓練所 指導部 指導課 聴覚障害担当
TEL 042-995-3100 (内線 222)
FAX 042-992-5553 (指導課直通)

★以下の項目について、該当する箇所の口に印をつけてください。()には数字を入れてください。

1. 性別 男 女

2. 年齢 (才) ※ アンケートご記入時点の年齢をお書きください。

3. 聴覚障害 有 無 → 4の問いにお進みください。

◇「有」と答えの方は、以下の①～⑤の項目に答えてください。

① 身体障害者手帳	<input type="checkbox"/> 所持していない	<input type="checkbox"/> 1級	<input type="checkbox"/> 2級	<input type="checkbox"/> 3級	<input type="checkbox"/> 4級	<input type="checkbox"/> 5級	<input type="checkbox"/> 6級
② 両耳の平均聴力レベル <dB=デシベル>	<input type="checkbox"/> 40dB未満	<input type="checkbox"/> 40dB以上～50dB未満	<input type="checkbox"/> 50dB以上～60dB未満	<input type="checkbox"/> 60dB以上～70dB未満	<input type="checkbox"/> 70dB以上～80dB未満	<input type="checkbox"/> 80dB以上～90dB未満	<input type="checkbox"/> 90dB以上～100dB未満
③ 機能障害	<input type="checkbox"/> 感音性難聴	<input type="checkbox"/> 伝音性難聴	<input type="checkbox"/> 混合性難聴	<input type="checkbox"/> その他具体的に記入してください			
④ 聞こえが悪くなったのはいつ頃?	<input type="checkbox"/> 先天性(生まれつき)	<input type="checkbox"/> 10才未満	<input type="checkbox"/> 10才以上～20才未満	<input type="checkbox"/> 20才以上～30才未満	<input type="checkbox"/> 30歳以上～40才未満	<input type="checkbox"/> 40才以上～50才未満	<input type="checkbox"/> 50才以上
⑤ 補聴器の使用有無	<input type="checkbox"/> 補聴器を使用していない <input type="checkbox"/> 補聴器を使用している						
1	補聴器を使用しないと答えられた方、なぜ補聴器を使用しないのか理由を記入してください。						
2	補聴器を使用していると答えられた方は主にどんな時に使用していますか。 <input type="checkbox"/> 24時間使用 <input type="checkbox"/> 寝ている時以外いつでも使用 <input type="checkbox"/> 外出する時 <input type="checkbox"/> 車・バイクを運転する時 <input type="checkbox"/> 人と話をする時 <input type="checkbox"/> 仕事をする時 <input type="checkbox"/> スポーツをする時 <input type="checkbox"/> 音楽を聞く時 <input type="checkbox"/> 音楽を見る時 <input type="checkbox"/> その他《具体的に記入してください》						
3	補聴器を使用した場合、下記の音聞き取ることができですか? <input type="checkbox"/> 日常会話 <input type="checkbox"/> 電話を使用した会話 <input type="checkbox"/> 車・バイクの音 <input type="checkbox"/> テレビの音 <input type="checkbox"/> CDラジカセからの音楽 <input type="checkbox"/> 駅の放送 <input type="checkbox"/> 飛行機の音 <input type="checkbox"/> 救急車のサイレン音						

4. 住居 集合住宅《例→アパート、マンション公団など》 一戸建

5. 同居世帯人員《一緒に生活している人》 有 無 → 6の問いにお進みください。

◇「有」と答えの方は以下の①・②の項目に答えてください。

- ①同居世帯人員 (本人を除く) (1人 2人 3人 4人 5人 6人以上)
- ②同居世帯人員のうち聴覚障害者数 (本人を除く) (0人 1人 2人 3人 4人 5人 6人以上)

6. 普段の生活の中で、「音」に対してどの程度気を使っていますか? 該当する箇所の口に印をつけてください。
 いつも気をつけている 少し気をつけている 普通 あまり気をつけていない 全く気をつけていない

下記の音の強さや性質は、いろいろな条件によって異なります。
このアンケートでは、あなたのイメージする内容・場面での音についてお答えください。

該当する箇所に「○」をつけてください。

例

◆ 機器に関する音

- ・洗濯機を使用している音
- ・乾燥機を使用している音

①どの程度の音と意思ですか？ ②不安に感じますか？

大きい 小さい わからない 非常に不安 非常に不安

あまり気にしてない 気にしてない

音があるのがわからなかった 音があるのがわからなかった

③どの位の大きさが知りたい？

はい いいえ はい いいえ

①と②は全員お答えください。

③は聞こえの悪い方のみお答えください

◆ 機器に関する音

- ・洗濯機を使用している音
- ・乾燥機を使用している音
- ・ドライヤーを使用している音
- ・電子レンジを使用している音
- ・アイロンを使用している音
- ・エアコンを使用している音
- ・扇風機を使用している音
- ・空気清浄器を使用している音
- ・掃除機を使用している音
- ・パソコン、ワープロの

①どの程度の音と意思ですか？ ②不安に感じますか？

大きい 小さい わからない 非常に不安 非常に不安

あまり気にしてない 気にしてない

音があるのがわからなかった 音があるのがわからなかった

はい いいえ はい いいえ

- ・キーボードをたく音
- ・パソコンプリンターの音
- ・車のエンジン音
- ・バイクのエンジン音
- ・車、バイクのクラクション音
- ・自転車の音
- ・コピー機を使用している音

大きい 小さい わからない 非常に不安 非常に不安

あまり気にしてない 気にしてない

音があるのがわからなかった 音があるのがわからなかった

はい いいえ はい いいえ

- ・シュレッダー〈紙を細かく切る機械〉を使用している音
- ・補聴器のハウリング音
(ピ・ピ-となる音)
- ・ファックスを使用している音
- ・携帯電話の呼び出し音
- ・目覚まし時計(音声)の音
- ・目覚まし時計(振動)の音

◇「機器に関する音」で、その他不安に感じる音や大きさを知りたい音があれば、項目を()内に記入の上、該当する箇所に「○」をつけてください。

()	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるのかわからなかった	はい	いいえ
()	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるのかわからなかった	はい	いいえ
()	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるのかわからなかった	はい	いいえ
()	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるのかわからなかった	はい	いいえ
()	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるのかわからなかった	はい	いいえ
()	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるのかわからなかった	はい	いいえ
()	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるのかわからなかった	はい	いいえ

◆ 生活の中で生じる音

① 自分が発生する音	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるのかわからなかった	はい	いいえ
・食事中のナイフ、フォーク	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるのかわからなかった	はい	いいえ
・物を落とすときの音	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるのかわからなかった	はい	いいえ
・蛇口から出る水の音	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるのかわからなかった	はい	いいえ
・トイレの水を流す音	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるのかわからなかった	はい	いいえ
・シャワーを使用している音	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるのかわからなかった	はい	いいえ
・お湯の沸騰音	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるのかわからなかった	はい	いいえ
・テレビの音	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるのかわからなかった	はい	いいえ
・CDラジカセの音	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるのかわからなかった	はい	いいえ
・換気扇が回る音	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるのかわからなかった	はい	いいえ
・道路を歩く音	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるのかわからなかった	はい	いいえ
・道路を走る音	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるのかわからなかった	はい	いいえ
・廊下を歩く音	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるのかわからなかった	はい	いいえ

・廊下を走る音	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ
・階段を駆け上がる音	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ
・椅子をずらす時の音	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ
・ドアをノックした時の音	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ
・ドアの開閉音	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ
・窓の開閉音	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ
・戸棚の開閉音	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ
・机の引き出しの開閉音	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ
・食器を重ねる音	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ
・歯磨きの音	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ
・お化粧の音	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ

② 自分以外が発生する音

・子供の泣き声	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ
・動物(犬・猫等)の泣き声	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ

◇「生活の中で生じる音」で、その他不安に感じる音や大きさを知りたいたい音があれば、その項目を()に記入の上、該当する箇所に「○」をつけてください。

・()	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ
・()	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ
・()	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ
・()	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ
・()	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ
・()	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ
・()	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ

◆ 自分が発する音

・自分の声(日常会話)の大きさ	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ
・人(聴覚障害者)を呼ぶ時の声の大きさ	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ
・人(健聴者)を呼ぶ時の声の大きさ	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ
・あくびの音	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ
・くしゃみの音	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ
・鼻をかむ音	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ
・咳(せき)の音	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ
・おならの音	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ

げっぷの音

食べ物を食べている時の音

ジュースなどの飲み物を飲む時の音

机をたたいて人を呼ぶ時の音

大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ
大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ
大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ
大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ

◇「自分が発する音」の中で、その他不安に感じる音や大きさを知りたい音があれば、項目を記入の上、該当する箇所に「○」をつけてください。

()	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ
()	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ
()	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ
()	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ
()	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ
()	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ
()	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ
()	大きい	小さい	わからない	非常に不安	少し不安	あまり気にしてない	気にしてない	音があるの	はい	いいえ

☆その他「音」に関して気づいたことがあればご自由にご記入ください。

ありがとうございました。